

☆ 中 国

**繊維機械** 恒天重工のポリエステル短繊維設備一式、鑑定に合格

2015年1月26～27日、中国紡織機械協会は福建省普江市で恒天重工、邵陽紡織機械、中原工学院、邯鄲宏大化繊機械が共同で実施したプロジェクト「日産200トンのポリエステル短繊維デジタル化設備一式」の技術成果鑑定会を開いた。

同鑑定会には中国紡織機械協会・王樹田会長、中国工程院・蒋士成院士、中国化繊工業協会・シニアエンジニア叶永茂氏などの業界首脳や専門家が出席した。

鑑定した委員によると、最新の技術が導入されている同設備は、設備構造とその配置が合理的で、操作性が良く、工程の適応性が高く、エネルギー消費も低いという特徴を持つ。既に特許32件を取得、発明特許3件の申請がなされており、知的財産権が確保されている。6本の生産ラインで使用され、稼働状況はいずれも安定しており、安全性も高く、製品は要求度を満たしているという。

鑑定委員会は、プロジェクト開発グループへのヒアリング、生産現場の視察、関連資料の審査、質疑応答などを経て、この設備一式の技術が世界先端レベルであり、省エネルギーの点でも優れていることを認め、この技術を市場で普及促進させるよう提言を行った。

**繊維需要** エアバッグ市場が拡大の見通し

中国国内の車市場の活性化により、エアバッグ需要が急激に伸びている。エアバッグ素材の需要は2013年には2,890万疋に達した。

政府が安全性のため法規制を強化したことで、エアバッグの設置率は次第に増加し、素材の需要は2018年には4,390万疋と見込まれる。

世界的にエアバッグの供給は日本、ヨーロッパ、北米が独占し、同様にエアバッグ用の糸も基本的にはアメリカの Invista、ドイツの PHP、日系企業などが独占しているのが現状だ。2014年時点で、中国の主要生産者は、HMT New Technical Materials、Jiangyn Dual Automotive textiles、Shanghai Porcher Industries、Kolon Special Textiles、その他日系企業である。

HMT New Technical Materials は、国内で最初にエアバッグ用素材を大量生産化した企業のひとつで、昨年この企業の主要な供給先は、Yanfe Key(Shanghai) Automotive Safety Systems、Autoliv、GST

Automotive Safety、Jinzhou jinheng Automotive Safety System and BYD。

## ☆ パキスタン

### **繊維政策**                      **テキスタイル輸出 2019 年までに倍増**

パキスタン政府はこのほど繊維政策(2014～19 年)を発表し、今後 5 年間で繊維品輸出を 13 億ドルから 26 億ドルに倍増する計画を明らかにした。同時に 300 万人の雇用も創出する。

同繊維政策の内容は以下の通り。

- ① 金融支援  
輸出促進のための金利優遇、技術アップグレード投資の金利優遇、輸出払い戻し税の拡充
- ② 特恵制度(GSP+)の活用、促進
- ③ エネルギー不足の対応
- ④ 中小企業の生産性向上、クラスター設置等によるパワールームセクターの支援、サプライチェーンの競争力強化
- ⑤ 化繊の需要拡大(化繊高混率の商品の輸出促進策)
- ⑥ 人材育成、産官学連携の促進

以上